



正しい乗り方を確認 ～使用者増加中！電動アシスト自転車～

1. 事故の発生状況

2017年から2021年の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県で電動アシスト自転車による事故は合計18件^{※2}ありました。

(1) 県別および年別事故発生件数（表1）

表1 電動アシスト自転車の県別および年別事故発生件数（2017～2021年）（単位：件）

事故発生年	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2017年	1	0	0	0	0	0	0	0	1
2018年	1	0	0	0	1	0	0	0	2
2019年	5	0	0	0	1	1	0	1	8
2020年	2	0	1	0	0	1	0	1	5
2021年	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	10	0	2	0	2	2	0	2	18

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 電動アシスト自転車の県別および被害状況別事故発生件数（2017～2021年）^{※3}

（単位：件）

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0
	重傷	5	0	0	1	2	0	1	9
	軽傷	0	0	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	1	0	1	0	0	0	1	3
	製品破損	4	0	1	1	0	0	0	6
合計		10	0	2	2	2	0	2	18

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 電動アシスト自転車の事故事例

(1) 2020年05月（長崎県、年齢・性別不明、製品損害）

【事故の内容】

充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパック付近から発煙し、焼損した。

【事故の原因】

電池セル近くの水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入し、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

(2) 2021年07月（福岡県、20歳代・男性、製品損害）

【事故の内容】

電動アシスト自転車用のバッテリーパックが破裂した。

【事故の原因】

使用した電動アシスト自転車用のバッテリーパックは、大気中の水分が電池セルのカシメ部から内部に浸入する構造であったため、封口部が腐食して穴があいたことで水分が更に浸入したため、電極体の膨張による内部短絡、または析出した金属による外部短絡が生じて焼損したものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 篠崎

電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329